

■科目の基本情報

・科目番号	02JG501・502・503・504・505・506
・授業科目名	「こころ」の科学セミナー3A・3B・4A・4B・5A・5B
・授業形態	B(演習)
・標準履修年次	1・2・3年次
・開設学期	02JG501・503・505:春学期 02JG502・503・505:秋学期
・曜時限等	不定期
・教室	未定
・単位数	各0.5

■担当教員等

・担当教員名	感性認知脳科学専攻後期全教員
・ティーチングフェロー(TF)	
・ティーチングアシスタント(TA)	
・オフィスアワー等(連絡先含む)	松本正幸 mmatsumoto@md.tsukuba.ac.jp

■受講によって得られる知識・能力等

・教育目標との関連

人間の感性やこころと脳機能とを関連づけようとする基礎研究にとって、研究者だけではなく、臨床家や企業人から感性科学、行動科学、神経科学の幅広い知識を得ることは大きな指針となり、本専攻の教育目標と合致する。

・授業の到達目標 (Aim of Course)

感性科学、行動科学、神経科学の幅広い知識を身につける。

■授業内容等

・授業概要 (Course Description)

「こころ」の科学を実践している教員、研究者、臨床家、企業人による講演を通して、学生自身が新しい「こころ」の科学を創成していくうえでの指針を得ることを目標とする。

・キーワード

感性科学、行動科学、神経科学、社会実装

・授業計画 (Time Table)

最先端の研究動向、社会動向を鑑み、随時必要な講義をおこなう。

・履修条件 (Prerequisite)

感性科学、行動科学、神経科学と、それらの社会実装に興味をもち、積極的にdiscussionに参加すること。

■ 成績評価方法

・評価方法

出席態度とdiscussionでの発言内容

・割合

出席態度とdiscussionでの発言内容を総合的に評価する。

・評価基準

講義の中で述べられたことを理解し、自身の考えをdiscussionの中で適切に述べられたのか。

■ 受講するにあたって

・教材・参考文献、配布資料等(Reading Materials)

各回の講師が指定する論文、配布資料。

・授業外における学習方法

各回の講師が指定する論文をあらかじめ読んでおくこと。

・受講生に望むこと(Recommended Background)

積極的にdiscussionに参加すること。

・欠席の場合の措置について

研究に関するイベント(学会等)に参加する場合は欠席扱いとしない。

・備考